

地震・津波ハザードマップの見方

想定されている現象について

【震度(揺れやすさ)・液状化危険度】

地震による揺れやすさ(震度)および液状化危険度は、岩手県が実施した「岩手県地震被害想定調査」の結果であり、「1968年十勝沖地震の再来型」(想定十勝沖地震)における想定結果を示しています。これらの調査において、久慈市における最大震度は「5強」、液状化の危険度は河川沿いや埋立地を中心に「液状化の可能性がある」地域が分布すると想定されています。

【地域の危険度】

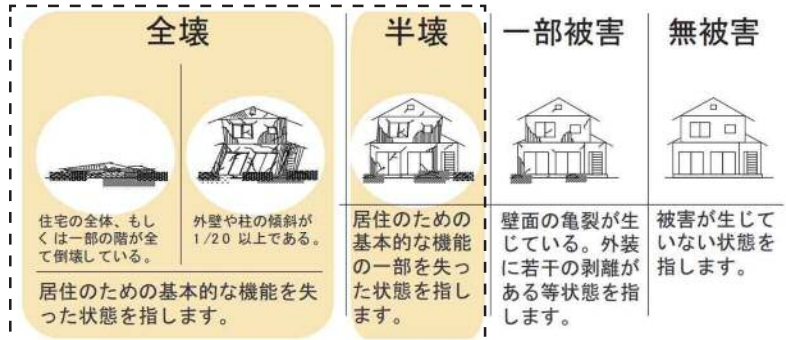
地域の危険度マップは、想定される揺れの大きさと液状化の危険度を考慮し、50m格子ごとの建物被害(全半壊棟数)の割合を示しています。久慈市では、建物全半壊棟数率が50m格子で最大4.8%と想定されています。

【津波】

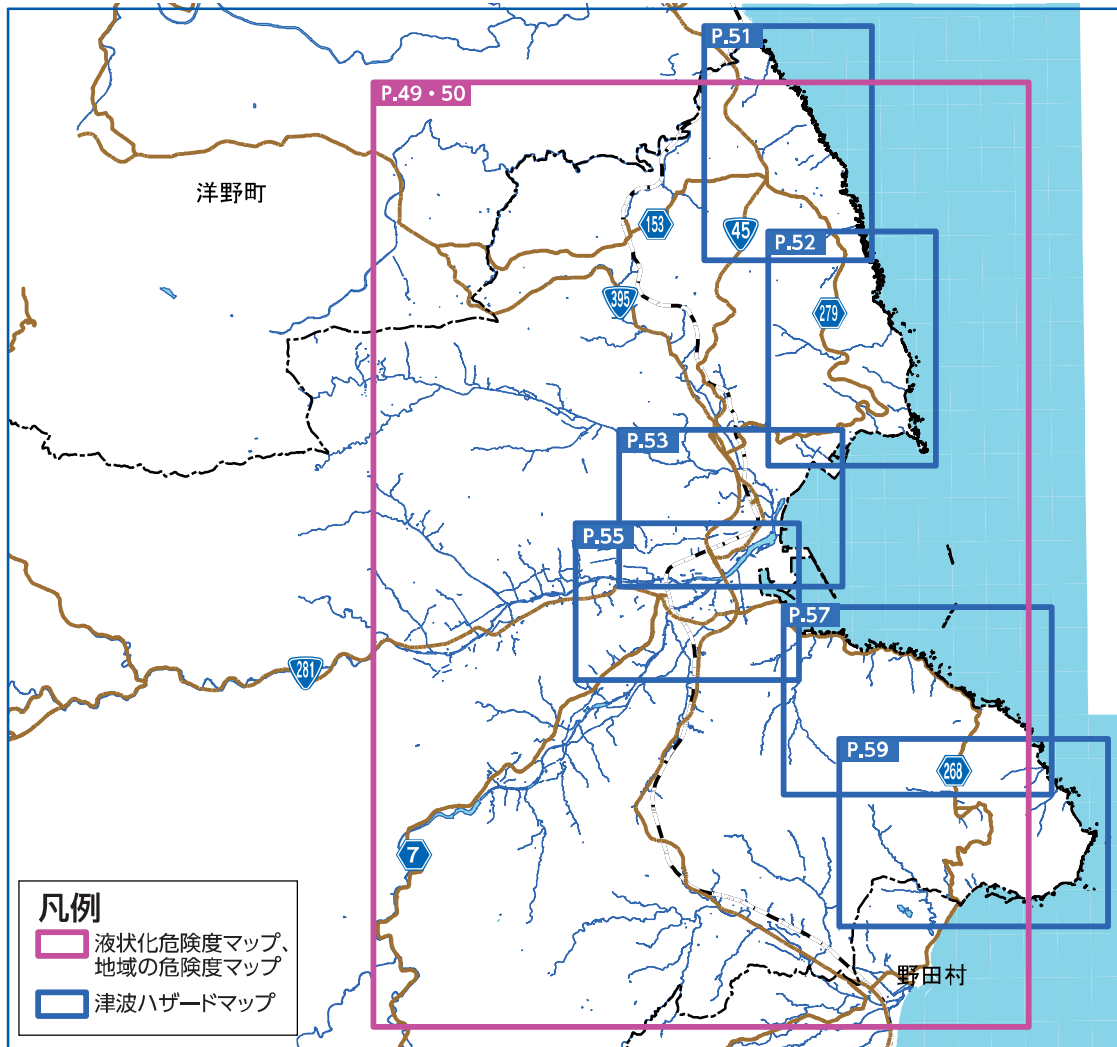
津波による浸水想定は、岩手県が平成16年に実施した津波浸水予測の結果であり、明治三陸津波、昭和三陸津波、想定宮城県沖連動地震津波による最大浸水の範囲を示しています。また併せて、東日本大震災による津波と明治三陸地震津波の浸水範囲を示しています。なお、今後岩手県による新たな津波浸水予測図が公表され次第、津波ハザードマップとして再度皆様にお伝えします。

■地域の危険度マップ

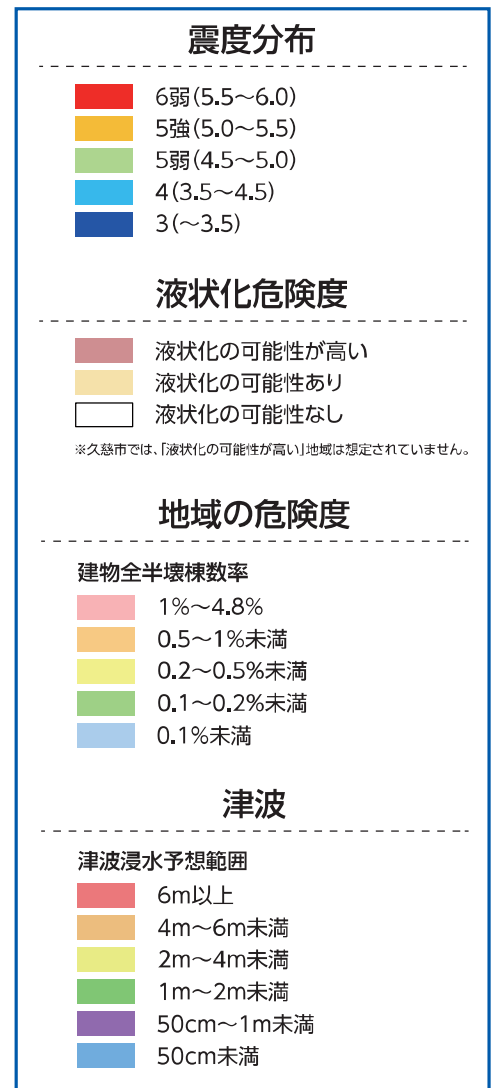
地震による建物の被害想定(全半壊率)を地図上に示したものです。地震によって、被害の状況はこれより大きくなったり、小さくなったりすることがあります。



図割



地図記号



枠内の数字は、掲載ページを示しています。

※このハザードマップは、次の資料に基づいて作成しています。
 震度、液状化危険度、地域の危険度：岩手県が実施した「岩手県地震被害想定調査」
 津波：岩手県が実施した「岩手県地震・津波シミュレーション及び被害想定調査」